

中学部 やまびこ学級 「自立活動」学習指導案

日 時：令和元年10月25日(金)

10:20~11:00

場 所：1-2病棟

対 象：中学部やまびこ学級

指導者：教諭 丹野 道代

1 題材名 「外の世界に触れてみよう」

自立活動の区分、項目との関連

- 1 健康の保持 (1) 生活のリズムや生活習慣の形成に関すること
- 3 人間関係の形成 (1) 他者とのかかわりの基礎に関すること
- 4 環境の把握 (1) 保有する感覚の活用に関すること
- 5 身体の動き (1) 姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること

2 題材について

○生徒観

中学部やまびこ学級は病弱の重度重複学級で、1年生の男子1名(生徒A)が在籍している。

生徒Aは低酸素性脳症後遺症で、西多賀支援学校に隣接する仙台西多賀病院に入院しており、毎日午前中、ベッドサイドで学習している。24時間人工呼吸器を装着しており、寝たきりで全介助の生活を送っている。指、まぶた、舌等にわずかな動きが見られるが、働きかけや刺激を受けての反応なのか、単なる反射なのか判断することは難しい。視覚に関しては、兎眼のため目が眼軟膏で保護されており、光に関する反応は見られない。聴覚に関しても聞こえているかの判断は難しいが、突然の大きな音に体をびくつかせることもある。嗅覚に関しては、香りを鼻の前に近づけると舌を動かす様子が見られる時もある。睡眠に関しては、眠っているか起きているかの判断は、心拍数を参考にしているが、はっきりとは分からない。各関節に拘縮があり、主に活動できるのは左手指(小指と中指か薬指)であるが、骨折しやすいので注意が必要である。体温調節も難しく、手袋や靴下、電気毛布などで調節されている。動きに関しては、上述のわずかな動きの他、腕、足、体全身を痙攣させることがある。教師の働き掛けがなくても痙攣は起こるが、突然体に触れたり、腕や足を持ち上げたりすると起こることが多い。優しく体に触れたり話し掛けたりすると、手足や指、口元や舌まぶたなどがびくびくとより動くと感じることがある。

○題材観

対象生徒は、これまでの人生のほとんどを病棟で過ごしており、生活経験、社会経験に乏しい。自立活動では、少しでも外の世界を感じることができるよう、主にその季節に関連した音楽活動や制作活動などを通して、固有覚、触覚、嗅覚、聴覚、視覚などに働き掛け、自然や季節を感じたり、社会とのつながりを経験したりできるような学習を取り入れて指導している。

「外の世界に触れてみよう」は、実際には病棟の外に行くことはできないが、ベッドの上でも病棟の外の世界に出るという経験を味わうことができないものかと考え、設定した題材である。これに関連して、これまでに「校外学習のお土産を味わおう(5月)」、「映画館に行こう(6月)」、「電車で出かけよう(9月)」といった学習に取り組んできた。「校外学習のお土産を味わおう」では大阪土産のお好み焼きせんべいの香りを嗅ぐと舌を動かす様子が見られたり、「映画館に行こう」では時間が足

りずに映画を途中で止めたとたんに痙攣を起こす場面が見られたりするなど、働きかけや刺激を感じ取っている様子が見られることもあった。

今回は「秋の野山に出かけよう」ということで、秋らしい音や音楽を聞いたり、映像を見たり、香りを嗅いだり、秋に関連するものを手で触れたりする活動を通して、秋という季節を様々な感覚で触れ、味わわせたいと考える。

○指導観

指導に当たっては、秋という季節感を大事にしながら視覚、聴覚、嗅覚、触覚、固有覚等様々な感覚への働き掛けを行い、秋の野山を体感できるようにしたい。また、教師側から働き掛けるばかりではなく、生徒の動きが外に働き掛ける活動も取り入れたい。その際ICT機器なども活用する。外に出かけるというわくわくした気分を味わえるように、次の点に留意しながら場面設定を工夫する。

- ・学習場所がベッドの上で、体や周囲には触れてはいけないチューブや医療機器があり、学習空間が限られていることを考慮し、教材の大きさや配置を工夫する。
- ・生徒のわずかな動きを生かせるように教材を工夫する。
- ・手指などを持ち上げる際には骨折などの心配もあるため、角度や強さなどに留意する。
- ・生徒の健康状態（特に心拍数や呼吸器の状態、顔色、痙攣）の把握に努めながら、状況に応じた支援を行う。

3 題材の目標

- ・外の世界に関する様々な働き掛けを保有する感覚で受け、経験を広げることができる。
- ・教師の働き掛けを受け、一緒に活動することができる。

4 指導計画（指導期間5月～2月、25時間扱い）

	小題材名	主な活動内容	区分	時数
5月	「校外学習のお土産を味わおう」	<ul style="list-style-type: none"> ・友達が行った校外学習の話を見聞きする。 ・お土産を「見る」、「聞く」、「触れる」、「嗅ぐ」。 ・どのお菓子が好みか選ぶ。(※反応が大きい方の時にVOCAのスイッチを一緒に押し、「これがいいです。」と答える。) 	健康の保持 生活のリズムや生活習慣の形成に関すること 人間関係の形成 他者とのかかわりの基礎に関すること	5時間
6月	「映画館に行こう」	<ul style="list-style-type: none"> ・ポップコーンの香りを嗅ぐ。 ・温と冷のドリンクに触れる。 ・温と冷どちらがいいか選ぶ。(※) ・チケットやポップコーン、ドリンクを買う模擬体験をする。 ・短編映画を見る。(担任や担任以外の教師とも一緒に) 	環境の把握 保有する感覚の活用に関すること	5時間
9月	「電車に出かけよう」	<ul style="list-style-type: none"> ・電車や駅の映像を「見る」、「聞く」。 ・スイッチを押して電車を走らせる。 ・振動や揺れを感じる。 ・いろいろな駅や電車などを見たり聞き比べ、行きたい駅や乗りたい 	身体の動き 姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること	5時間

		電車を選ぶ。(※)	
10月	「秋野の山に出かけよう」	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の景色や音を「見る」, 「聞く」。 ・秋の風を感じる。 ・枯れ葉や木の実を触る。 ・果物狩り疑似体験をする。 ・果物の香りを嗅ぐ。 	5時間 ※本時 5 / 5
2月	「スキーに行こう」	<ul style="list-style-type: none"> ・スキーや雪山の景色や音を「見る」, 「聞く」。 ・雪や氷, カイロに触れる。(温・冷) ・つるつる(氷) やさらさら(雪) などの感触を味わう。 	5時間

5 本時の指導

1) 本時の題材名 「秋の野山に出かけよう」

2) 本時の目標

- ・秋に関する様々な刺激や働き掛けを, 保有する感覚で受け取ることができる。
- ・教師の働き掛けを受け, 一緒に活動することができる。

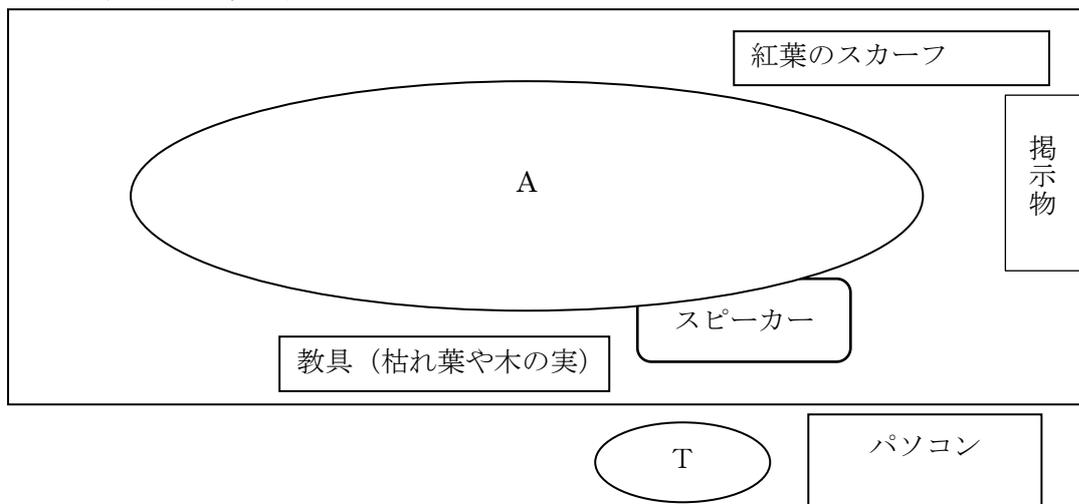
3) 生徒の実態及び個別目標, 手立て, 評価の観点

対象生徒	A
題材における実態	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉を掛けたり, 刺激を送ったりして働き掛けると, まぶたや口元がびくびく動くことがある。特に香りを鼻に近づけると, 口元や舌が動く様子が多く見られる。 ・大きな変化は見られないが, 痙攣を起こすことも少なく, 普段通り落ち着いて活動している。 ・映画鑑賞などで楽しい雰囲気の中, 担任以外の教師とも一緒に活動した際には, 心拍数が上がることもあった。
自立活動の年間目標	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な刺激や働き掛けを, 保有する感覚で受け止めることができる。 <関連項目: 1 (1), 3 (1), 4 (1), 5 (1)> <ul style="list-style-type: none"> ・担任以外の教師とも一緒に活動し, いろいろな関わりを経験することができる。 <関連項目: 3 (1), 6 (1)>
本時の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・秋に関する様々な刺激や働き掛けを, 保有する感覚で受け取ることができる。 ・教師の働き掛けを受け, 一緒に活動することができる。
手立て	<ul style="list-style-type: none"> ・スイッチを押す際は, 様子をよく観察し, 少しでも手指やまぶた, 口元などに動きが見られた時に, 一緒にスイッチを押すようにする。 ・様々な感覚を味わう際には, 十分その感覚を感じる取ることができるように, じっくりと時間をかける。
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な刺激や働き掛けに対して何らかの反応は見られたか。 ・教師の働き掛けを受け入れて活動することができたか。

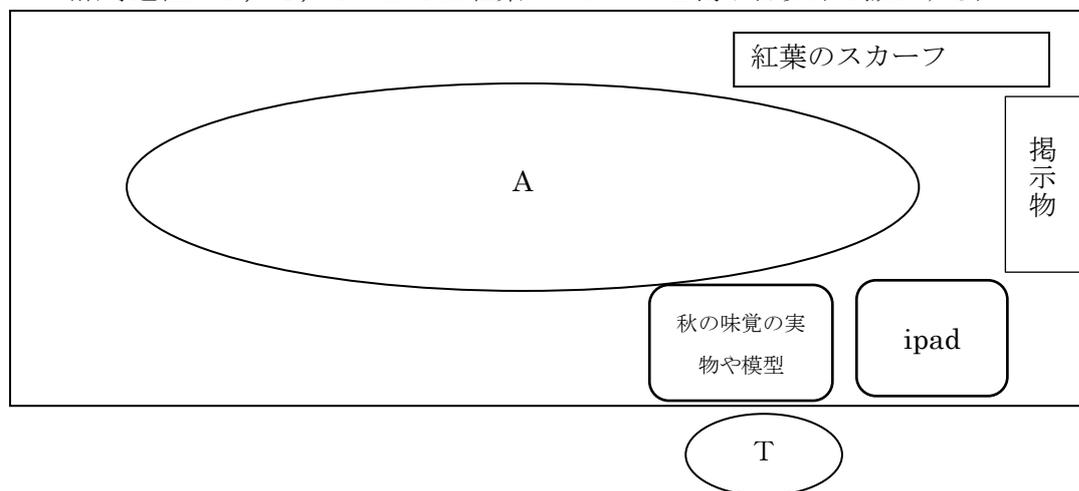
<p>10:40 (15分)</p>	<p>3 「秋の味覚を収穫しよう」</p> <p>① ブドウ狩りをする。</p> <p>② 収穫した秋の味覚に触れ、香りを味わう。</p>	<p>●枯れ葉に触れる際は、衛生上、ビニル袋の上から触らせる。</p> <p>○ipad のアプリ “panda grape”を起動し、まずは手本を見せる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>スイッチを押してブドウを取る。</p> </div> <p>○スイッチを一緒に押ししたりしながら、ブドウが取れるように支援する。</p> <p>●生徒の様子をよく観察し、反応や動きをじっくりと待つようにする。</p> <p>●一粒取れる毎に賞賛し、喜びを分かち合う。</p> <p>●ブドウの粒が全て取れなくても、生徒の様子や時間を見て終わりにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>収穫した秋の味覚に手で触れ、香りを嗅ぐ。</p> </div> <p>○実物に手で触れさせた後、鼻に近づけて香りを送る。</p> <p>●病院に持ち込めない物もあるが、できるだけ本物に触れさせるようにする。実物が無理な物は模型を使用する。</p> <p>●生徒の動きに変化はないか、表情、心拍数などをよく観察する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ブドウの模型 ・ipad ・スイッチ ・ブドウ ・きのこ ・模型（ブドウ、きのこ、栗、柿等）
<p>10:55 (5分)</p>	<p>4 本時の振り返り</p> <p>5 終わりのあいさつ</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>本時の活動を振り返る。</p> </div> <p>○活動を振り返る言葉掛けを行う。</p> <p>○楽しかった活動を選ぶ際には、掲示物を触って反応があった方の時に一緒に VOCA のスイッチを押す。</p> <p>●使用した教材を片付け、ベッドの上に片付け忘れた物はないか、よく確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>VOCA のスイッチを押す。</p> </div> <p>○スイッチの上に A の手を乗せ、その上から教師の手を乗せてスイッチを一緒に押す。</p> <p>●できるだけ A の指の動きを感じてから一緒に押すようにする。</p> <p>●疲れや変わった様子はないか、健康状態を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示物 ・ VOCA (ステップバイステップ with レベル)

5) 場の設定

(指導過程 1, 2)



(指導過程 3, 4, 5 ※5は紅葉のスカートと掲示物以外は撤去する)



6) 準備物

掲示物 (題材名・次第), 紅葉が付いたスカート

紅葉, 木の实, 秋の味覚 (ブドウ, きのこなど) の実物や模型

パソコン, スピーカー, ipad

VOCA (ステップバイステップ with レベル)



7) 評価

(1) 生徒 * 3) 生徒の実態及び個別の目標, 手立て, 評価の観点を参照

(2) 教師

- ・生徒の様子をよく観察しながら, それに応じた支援ができたか。
- ・場の設定や指導内容は適切であったか。